

3-11 Hoshigadai, Tajimi City, Gifu Pref., 507-0811 JAPAN
 TEL. +81-572-22-5381 / FAX. +81-572-25-1163
 URL: http://www.ceram.rd.pref.gifu.lg.jp
 Mail: info2@ceram.rd.pref.gifu.jp

Gifu Prefectural Ceramics Research Institute
岐阜県セラミックス研究所
 since 1911 TM

依頼試験手数料及び開放試験機器使用料の改定について

本県では、近年の物価高騰、労務単価上昇を踏まえ、工業系試験研究機関で実施する依頼試験手数料及び開放機器使用料の改定をしました。今後も利用者の皆様にとって魅力ある試験研究機関となるよう、更なるサービスの向上を図り、持続可能な依頼試験及び開放試験室の運営に努めてまいりますので、ご理解のほどよろしくお願ひします。

依頼試験手数料表

無機材料開放試験室設置機器使用料金表

区分	依頼試験等の区分	単価	備考	区分	依頼試験等の区分	単価	備考
一般	定性			業	高精度熱膨張 1000度以下	5,490	50mm長×5mm角の角棒1ヶ
	単量				# 1000度を超えて1300度まで	7,630	
	複雑 (重元素)	5,010	真空中で蒸発するものと		焼成 5KW以下	5,050	電気炉
	" (軽元素)	5,010	液体は出来ない		焼成 5KW超	11,150	高温電気炉、高温雰囲気炉、ホットプレス(1200℃以下)
	水分	2,360			焼成 高温炉	45,590	ホットプレス(1200℃超)
	複雑 (化学分析)	5,580	粉末5g以上		陶磁器容器の溶出試験	3,670	(耐酸) 4個まで1件、6個は2件分
	pH	1,400			陶磁器タイルの溶出試験	7,690	(耐酸)
	真比重	3,450	JIS M 8717		弾性率	4,460	
	灼熱減量	3,660	Ig.Loss		衝撃試験	2,430	サンプル5個以上
	粒度分布	6,730	(レーザー回折法)		ガス吸着法による比表面積測定	7,900	
	熱伝導率(常温)	5,650	100℃未満、かさ密度測定は別料金		ガス吸着法による細孔径分布測定	16,290	
	熱伝導率(高温)	9,370	100℃以上、かさ密度測定は別料金		水銀圧入法による細孔径分布	17,540	
	光学顕微鏡観察	2,310			応用試験(簡単)	3,180	
	電子顕微鏡観察	6,590			応用試験(複雑)	8,330	
熱特性	6,860	(TG-DTA, DSC)	食器の退色(業務用)	8,280			
X線回折	7,410		食器の退色(家庭用)	12,550			
測色	3,070	反射率曲線測定	レーザー顕微鏡観察(3次元観察)	4,370			
X線マイクロアナライザー	8,600		レーザー顕微鏡観察(表面観察)	3,440			
" 加算額	4,040		ゼータ電位(粒子分散液)	9,000			
放射率測定 簡単	18,300	5mm厚以下、50mm角、160℃	試験調整				
放射線検査	1,330		簡単	1,980	(熱膨張のカット)		
業	急冷(500度以下)	2,540	サンプル1ヶ(スパーリング)	複雑	4,020	(金コーティング・曲げのカット)	
	濃縮融解 マイナス20度	3,930	試験回数×3,930円	極めて簡単	5,060		
	" -20度を超えて-65度まで	4,380	試験回数×4,380円	簡単	8,840		
	曲げ	3,070	サンプル タイル5ヶ	平均的	16,700		
	圧縮	3,070	サンプル並形 レンガ1/2T 2ヶ	複雑	26,190		
	吸水率(浸漬法)	2,470	サンプル 3ヶ(瓦・石)	極めて複雑	36,740		
	吸水率(真空法)	3,490	サンプル タイル5枚、普通・化粧レンガ3ヶ、耐火レンガ2ヶ	和文	470		
	気孔率	3,830	サンプル 耐火レンガ 2ヶ	英文	470		
	比重(高・見掛)	3,830	"				
	耐火度	9,370	(SK26~36)				

区分	単位	使用料(円)
供試体プレス成形機	1時間につき	120
ジョークラッシャー	1時間につき	100
ロールクラッシャー	1時間につき	110
フレット	1時間につき	130
真空土練機	1時間につき	130
ボールミル	1時間につき	130
ダイヤモンドカッター	1時間につき	410
光学顕微鏡	1時間につき	200
硬度計	1時間につき	100
曲げ試験機	1時間につき	130
マイクロ波ガス複合炉	1時間につき	2,030
フィルタープレス	1時間につき	580
機械ロクロ	1時間につき	610
粒度分布測定装置	1時間につき	3,030
レーザー顕微鏡	1時間につき	1,630
電子顕微鏡	1時間につき	11,600
熱伝導率測定装置	1時間につき	2,760
弾性率測定装置(超音波バルス)	1時間につき	240
レオメーター	1時間につき	2,770
自動真密度測定装置	1時間につき	630
大型ダイヤモンドソー	1時間につき	1,040
高性能ガス吸着測定装置	1時間につき	1,740
ゼータ電位・粒度分布測定装置	1時間につき	2,150

(瓦の曲げ試験は平瓦のみ) テストピースの曲げはサンプル5~10枚必要、平均値をだすため

令和8年度の主な研究課題

①半導体製造用セラミックス部材の製造技術確立に関する研究【継続】

半導体製造装置に使用されるヒーター、静電チャック、固定治具などのセラミックス製品化について、より安価な高信頼性セラミックスの製造プロセスを確立し、県内企業の新規参入を支援します。

②タイルの新しい製造技術及び製品検査の自動化に関する研究【継続】

ミラーレス一眼カメラを用いて撮像した画像から、データベースの釉薬情報と照合するシステムを開発すべく、撮影したタイル画像の色情報とデータベース内の色情報を統計的手法を用いて照合する技術を検討します。

③リサイクル陶磁器の製造技術に関する研究開発【新規】

既存のRe20の生産性を向上させると共に、将来的に配合率の高(低)配合化といった新しいリサイクル食器の開発に加え、不良発生時に解決策を見出すための技術開発に取り組みます。

④複雑形状の陶磁器製飲食器の応力解析【新規】

経験的試行錯誤やノウハウによって行われている多種多様な形状の陶磁器製品を対象として、CAD、CAEを活用した製品設計及び評価を行い、複雑形状の陶磁器製品の高付加価値化・信頼性向上を目指します。

⑤陶磁器成形用石膏型の長寿命化に関する研究【継続】

陶磁器成形用石膏型の長寿命化を図り、使用済み石膏型の廃棄量を減らすことで、陶磁器製造時における環境負荷低減と生産性向上に貢献することを目指します。また、これまで職人が蓄積してきた石膏型製造技術はそのままに、設備投資を要することなく高付加価値化することを目指します。

⑥陶磁器製品の低温焼成に関する研究【継続】

従来の焼成温度(最高1350°C)より100°C以上低い温度で焼成できる原料配合及び釉薬を開発します。また、開発した坯土・釉薬について、実際の製造ラインにて実証試験を行います。

⑦新装飾を活用した美濃焼伝統工芸による新規陶磁器製品の開発【継続】

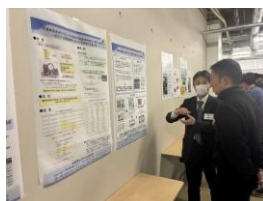
美濃焼は、主に生産効率を重視してシンプルな装飾品を生産していますが、近年の原材料価格の上昇などから、製品の付加価値を高めることが求められています。そこで、美濃焼伝統工芸に用いられる特徴的な釉薬を活かしながら新たな装飾技法を加えた、高付加価値な製品の創出に向けた技術開発に取り組みます。

「2025年度成果発表会」を開催しました

令和8年2月27日に名古屋工業大学先進セラミックス研究センター、東濃四試験研究機関協議会※、一般社団法人岐阜県工業会の共催により、名古屋工業大学先進セラミックス研究センター駅前地区にて「2025年度成果発表会」を開催しました。当所からは「高強度磁器杯土を用いた圧力鋳込み成形プロセスの検討」、「タイル製品の外観検査自動化に関する取り組み」および「炭化ケイ素焼結体の不純物の定量分析」について発表しました。また、株式会社LIXIL環境技術開発部・名古屋工業大学客員教授の山崎悟氏による「陶磁器製造のカーボンニュートラル」と、福岡県工業技術センター化学繊維研究所の阪本尚孝氏による「未利用資源を活用した次世代陶土の開発と自動化」についてご講演いただきました。

※東濃四試験研究機関協議会

岐阜県セラミックス研究所
多治見市陶磁器意匠研究所
土岐市立陶磁器試験場
瑞浪市窯業技術研究所



ポスター発表の様子



講演の様子